

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-R3300 CDX-R3300S



警告

安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

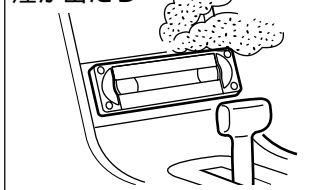
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
CDについて	7
MP3について	9
はじめに	12
まず、本機をリセットする	12
CD・ラジオの聞きかた	14
各部のなまえ	16
カードリモコンの操作	18
時計を合わせる	20

CD/MP3

CD/MP3を聞く	21
繰り返し聞く （リピート再生）.....	25
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）.....	26

ラジオ

放送局を自動で登録する	27
放送局を手動で登録する	29

サウンドの設定

イコライザーを使う （EQ3）.....	30
音のバランスを設定する （バランス）（フェダー） （ローパスフィルター） （サブウーファー）（ATT）.....	32

その他の操作

音や表示などの設定を換える	33
ロータリーコマンダー（別売り）の 操作	35

使用上のご注意	38
故障かな?	41
保証書とアフターサービス	45
主な仕様	46
索引	47



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



指示

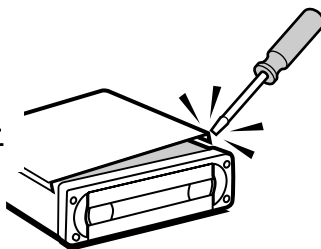
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



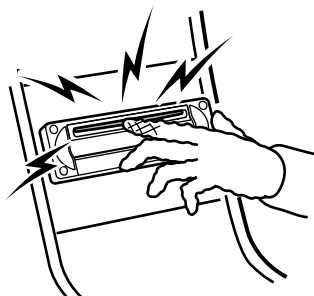


下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

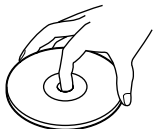


- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

次のページへつづく

CDについて(つづき)

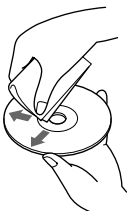
保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。









著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD		
MP3ファイル		
		

- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R (レコーダブル) CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスクをご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 : ファイル名は8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、"_"で8文字以下、拡張子は3文字)、
フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2 : ファイル名は最大半角31文字 (区切り文字、"."と拡張子を含む)、フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet : ファイル名、フォルダー名は最大で32文字。

Romeo : ファイル名、フォルダー名は最大で半角64文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra : セッション1のトラックに音声 (オーディオCDデータ) を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD : 1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声 (オーディオCDデータ) を記録するフォーマット。

ご注意

- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
 - 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
 - マルチセッションで記録したディスク
 - セッションの追加が可能なディスク
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。

[次のページへつづく](#)

MP3について(つづき)

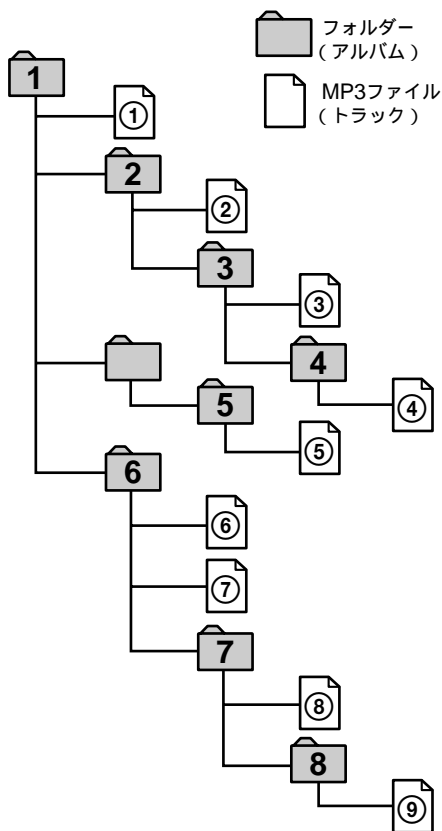
マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
最初のセッションのオーディオCDデータのみ通常に再生し、その他のデータはとばします。
2番目以降のセッションのデータは、すべてとばします。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO MUSIC」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- ディスクに含まれるフォルダーは150個までです。(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーも含みます。)
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大300個までです。
ファイル名、フォルダー名の文字数が多い場合は、300個以下になることがあります。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定することができます。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

はじめに

- 本機はCDとMP3、ラジオに対応。

CD：音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT

MP3ファイル：CD-ROM/CD-R/CD-RW(ISO9660レベル1/レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している)、マルチセッション対応

ラジオ：FM/AM

- 好みの音質に調整可能な3バンドイコライザーカーブ(EQ3)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

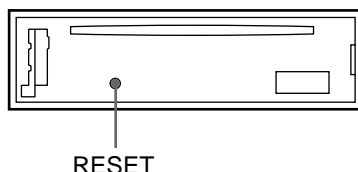
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのソニー製ロータリーコマンダーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し(13ページ)、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。




ご注意

- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。
- RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「DEMO」(デモモード)を「OFF」にしてください(34ページ)。

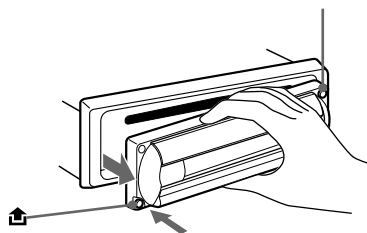
フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、を押して手前に引いて外します。

OFFボタン

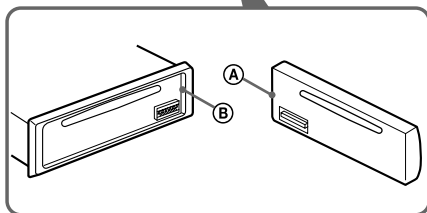
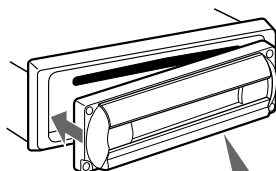


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の⑤部分を合わせます。フロントパネルの左側も合わせてカチッとはまるまで押します。



はじめに / まず、本機をリセットする

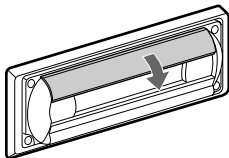
CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

本機は8cmCDの再生はできません。

8cmCDアダプターも故障の原因になりますので使用しないでください。

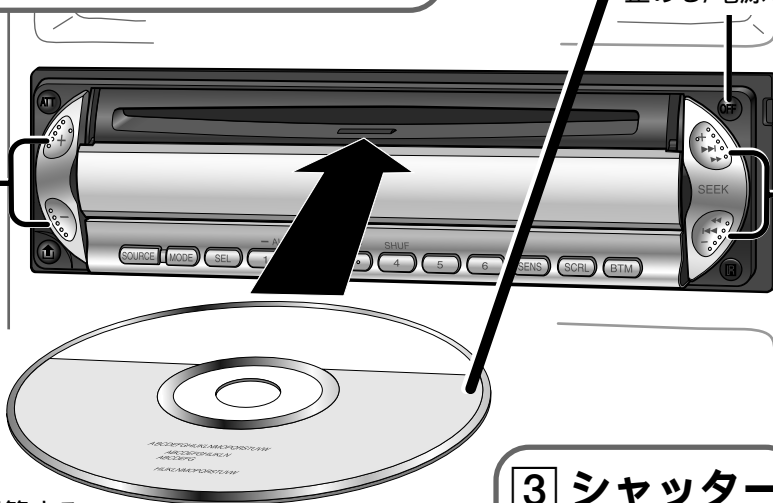
1 シャッターを下げる



2 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。

止める/電源を切る



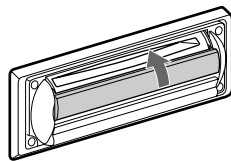
音量を調節する

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」表示に
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

ディスクを取り出すには
16ページをご覧ください。

3 シャッター を上げる



聞きたいところを探す (手動サーチ)

SEEKボタンを押し 先に進める
続けて、聞きたいと
ころで離します。 前に戻す



曲の頭出しをする (自動選曲センサー(AMS))

SEEKボタンをと
ばしたい曲の数だ
け短く押します。

次の曲へ進む
曲の頭や前
の曲へ戻す



ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

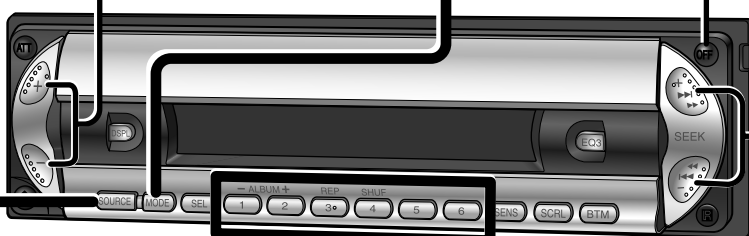
SOURCEボタンを押す。

2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタン押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

音量を調節する

止める/電源を切る



3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。
くわしくは27～29ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)
SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

次の放送局を探す

前の放送局を探す



希望の放送局を受信する(手動選局)
SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

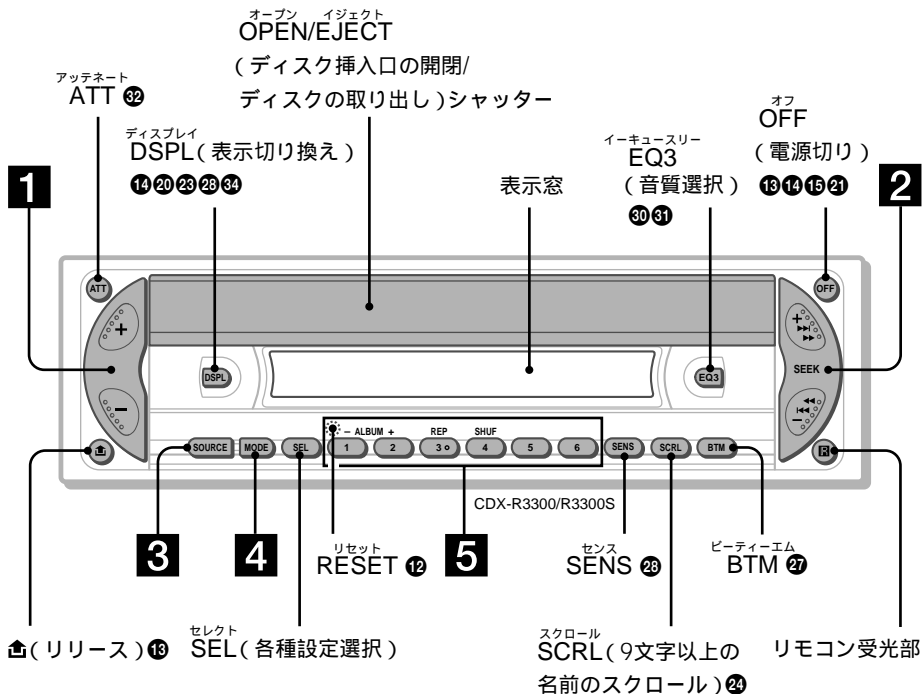
高い周波数の
放送局を探す

低い周波数の
放送局を探す



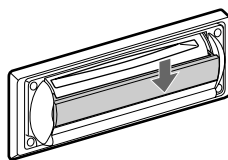
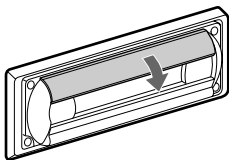
各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



ディスクを取り出すには

シャッターを下げ、下へ押す。



「ピッ」という音がして、ディスク
が出ます。

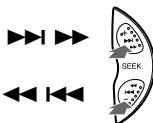
ご注意

ディスクの取り出し、挿入中はシャッターを上げないでください。
ディスクがはさまれ傷つくおそれがあります。

1 ボリューム (音量調節)

+: 大きく

-: 小さく

**2** ^{シーク}SEEK (ラジオ選局/頭出し/
設定項目の選択)

ラジオ	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)
	15 28 29	15 28 29

CD	次の曲へ 早送り (押し続ける)	前の曲へ 早戻し (押し続ける)
	14 22	14 22

3 ^{ソース}SOURCEボタン (ラジオ/CD切り換え)**4** ^{モード}MODE

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え 15 27 29
-----	-----------------------------------

5 数字 (1~6) ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 15 27 29
-----	-----------------------

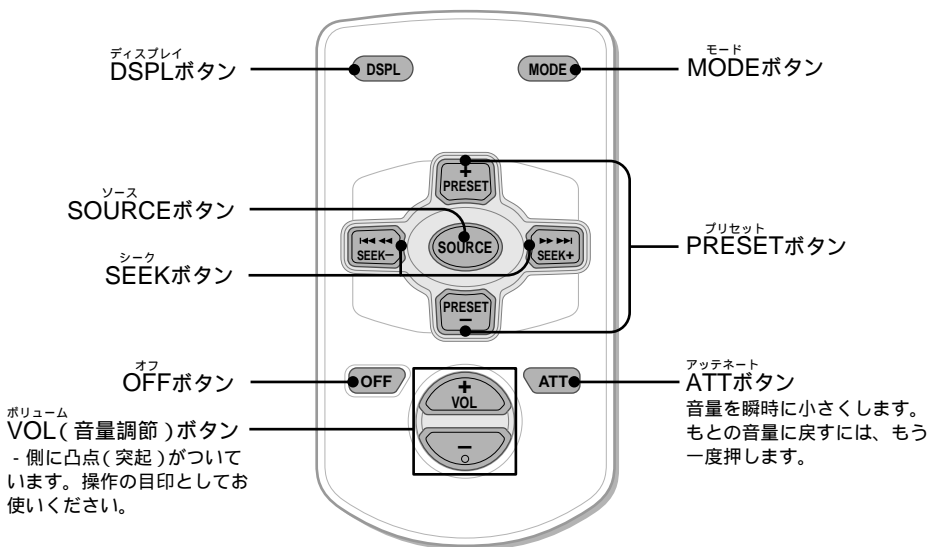
CD	1: ^{アルバム} ALBUM - ボタン* 22
	2: ^{アルバム} ALBUM + ボタン* 22
	3: ^{リビート} REP ボタン 25
	4: ^{シャッフル} SHUF ボタン 26

* MP3再生時のみ

ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

カードリモコンの操作

本体のボタンと同じボタンを押すことで、カードリモコンで操作することができます。本機に特有のボタンについては、本体で操作を行ってください。



RM-X115

アルバムを選ぶには

カードリモコンのPRESET (ALBUM) +/- ボタンでアルバムを選ぶことができます。

MP3再生時に、PRESET (ALBUM) +/- ボタンを繰り返し押して、再生したいアルバムを選びます。

押し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

連続して曲の頭出し(自動選曲センサー(AMS))をするには

SEEK +/- ボタンを押すと、前の曲や次の曲に押した数だけスキップします。連続して送るには、ボタンを離してから2秒以内に再びボタンを押し、とばしたい曲の数だけ短く押します。

ご注意

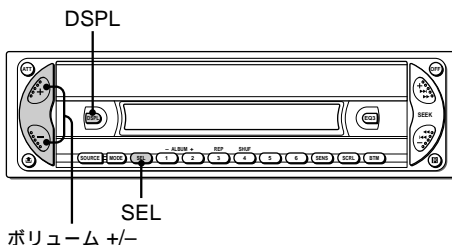
本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(39ページ)をご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



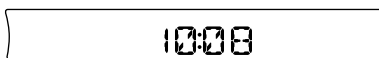
1 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。

「時」が点滅します。



- ❶ ボリュームボタンの+または-を繰り返し押して「時」を合わせる。
- ❷ SELボタンを押す。
「分」が点滅します。
- ❸ ボリュームボタンの+または-を繰り返し押して「分」を合わせる。

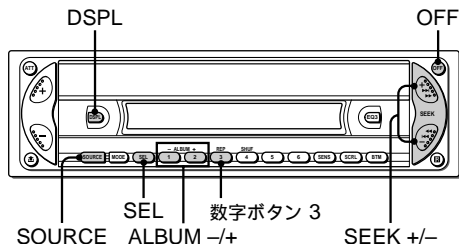
2 DSPLボタンを押す。



設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

CD/MP3を 聞く

本機でCD、MP3ファイルを再生できます。CD TEXTディスク、MP3ファイルを再生中にその文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示できます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 MP3再生時のみ表示します。

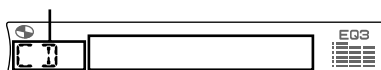
*2 MP3とCD TEXT再生時のみ表示します。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。

SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」を選ぶ。

ソース



トラック番号/再生経過時間
ディスク名/アーティスト名
アルバム名*1
曲名*2
ID3タグ*1
時計

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

[次のページへつづく](#)

CD/MP3を聞く(つづき)

MP3再生時のご注意

MP3再生時、初めにディスク内の情報(アルバム、トラック数など)を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「READ」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

聞きたいアルバムを選ぶには

(MP3再生時のみ)

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に、
ALBUM - (数字1)ボタンまたはALBUM + (数字2)ボタンを押す。

押すたびに、前のアルバムまたは次のアルバムに1つずつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を短く押す。
次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「LLLLL」または「RRRRR」が表示され、それ以上前、または先に進めることはできません。

ちょっと一言

- 本機ではCD TEXTディスクやMP3ファイルに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- CD TEXTディスクの、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(24ペ - ジ)で「A.SCRLO-N」にしておくと、ディスクやアルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3のID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」と順に表示します。
- MP3再生時、アルバムが切り換った時にアルバム番号を表示します。

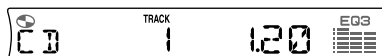
ご注意

- CD TEXTディスクで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
VBR(Variable Bit Rate : 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

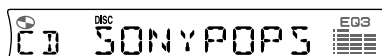
表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。

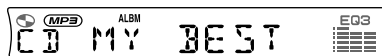
CDの再生の場合



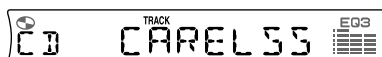
曲番号/再生経過時間



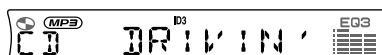
ディスク名*1/
アーティスト名



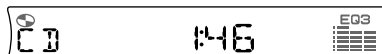
アルバム名
(MP3のみ)



曲名*1
(CD TEXT、
MP3のみ)



ID3タグ*2
(MP3のみ)



時計

*1 ディスク名、曲名がついていないときは、「NO NAME」と表示された後、再生経過時間表示になります。

*2 MP3にID3タグがついていないときは、「NO ID3」と表示された後、再生経過時間表示になります。

ID3タグはver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4に対応しています。

表示可能な文字コードはASCIIで、それ以外の文字は「*」で表示します。

ID3タグの曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。

次のページへつづく

CD/MP3を聞く(つづき)

ご注意

- オートスクロールが「OFF」の状態でもDSPLボタンを押した時には、ディスク名、アルバム名(MP3のみ)、曲名、ID3タグ(MP3のみ)のスクロールができます。
- CD TEXTディスクで極端に文字数が多く入っている場合、全ての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。

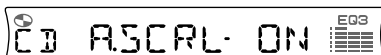
長い名前(9文字以上)を見るには

CD TEXTディスク、またはMP3ファイルの再生中に、SCRLボタンを押します。

オートスクロールの設定

CD TEXTディスク、またはMP3ファイルを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDにしたときに、オートスクロール設定を「ON」にしておくと、9文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押す。



約2秒後に、通常の画面が表示されます。

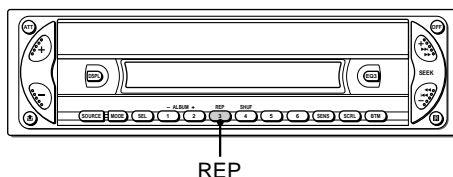
オートスクロールを解除するには

SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

繰り返し聞く

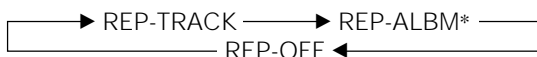
(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはアルバム内の全曲を繰り返し聞くことができます。



再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中の曲を繰り返す 「REP-TRACK」にする。
- 再生中のアルバム内の曲を繰り返す
..... 「REP-ALBM」*にする。

* MP3ファイル再生時のみ表示されます。

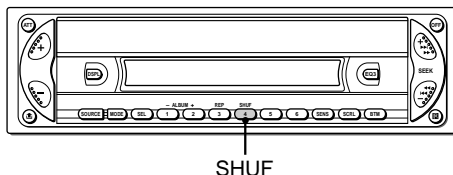
リピート再生をやめるには

REPボタンを繰り返し押して、「REP-OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

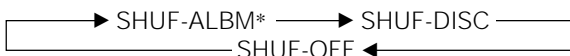
(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、またはディスク内の全曲の曲順を変えて聞くことができます。



再生中にSHUFボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生中のアルバム内の全曲を順不同に再生する
.....「SHUF-ALBM」*にする。
- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する
.....「SHUF-DISC」にする。

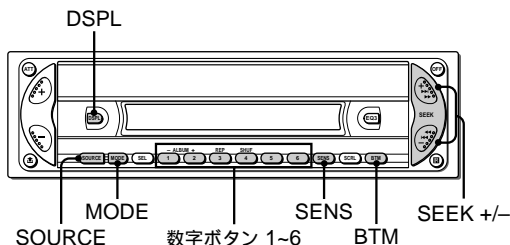
* MP3ファイル再生時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

SHUFボタンを繰り返し押して、「SHUF-OFF」を選びます。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」,「FM2」,「AM1」,「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



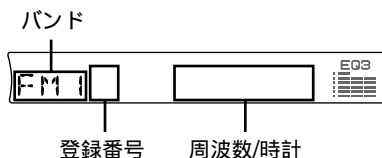
ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。



2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 BTMボタンを2秒以上押す。



「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押して、聞きたい放送局を選ぶ。

[次のページへつづく](#)

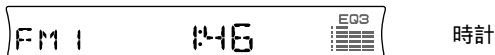
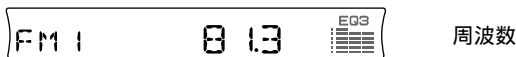
放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

- SEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押すと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「L.SEEK +/-」と表示されます。

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。



旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEKボタンの+または-を押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

ラジオ受信中にSENSボタンを繰り返し押して、「LOCAL-ON」を選びます。

ふつうの受信に戻すには

FM : SENSボタンを2回押します。

AM : SENSボタンを押して、「LOCAL-OFF」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

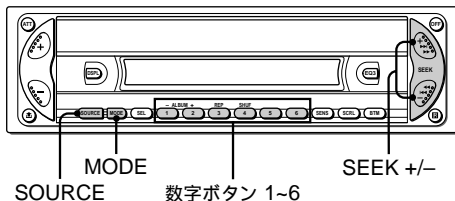
FM受信中にSENSボタンを繰り返し押して、「MONO-ON」を選びます。

ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを押して、「MONO-OFF」を選びます。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えます。

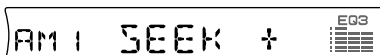
ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- SEEKボタンの+または-を押しながら、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押すと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

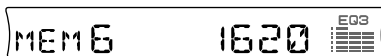
1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

- 3
- A 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、SEEKボタンの+または-を押し続ける。
 - B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
SEEKボタンの+または-を押して離す。
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



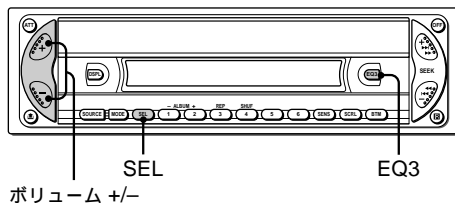
4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。



選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

イコライザーを使う(EQ3)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらに好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ちょっと一言

イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(CDまたはラジオ)を再生/受信する。
- 2 EQ3ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。

EQ3ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

→ XPLOD → VOCAL → CLUB → JAZZ
← OFF ← CUSTOM ← ROCK ← NEW AGE ←

EQ3 ROCK EQ3

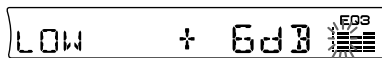
イコライザーを解除するには
手順2で「OFF」を選びます。

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース(CDまたはラジオ)を再生 / 受信する。
- 2 EQ3ボタンを繰り返し押し、イコライザーカーブを選ぶ。
- 3 イコライザーカーブを調節する。

- ① SELボタンを繰り返し押し、音域を選ぶ。
押すごとに、表示は次のように切り換わります。
LOW → MID → HI → (BAL → FAD →
LPF → SUB)

- ② ボリュームボタンの + または - を繰り返し押し、レベルを調節する。



- ③ 手順①と②を繰り返し、イコライザーカーブを調節する。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには
設定の手順①または②でSELボタンを2秒以上押し続けます。

ご注意

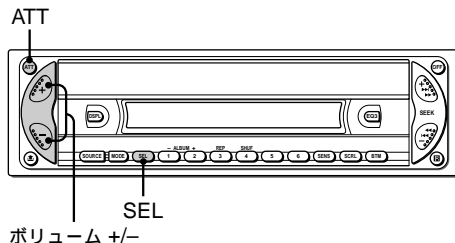
EQ3 OFFでは、イコライ
ザーカーブの調節はできま
せん。

ちょっと一言

- 3秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。
- レベルの調節可能範囲は
±10dBです。

音のバランスを設定する

(バランス)(フェダー)
(ローパスフィルター)
(サブウーファー)(ATT)



ちょっと一言

- SELボタンを押すごとに
LOW*1 → MID*1 → HI*1
→ BAL → FAD →
LPF*2*3 → SUB*2*4
と切り換わります。

*1 EQ3 OFFでは表示されません。

*2 「SUB」を選ぶと表示されます(33ページ)。

*3 125Hz、78Hz、OFFが選べます。

*4 レベルの調整可能範囲は ±10dB です。

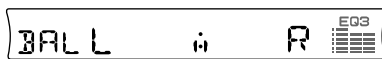
- 3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

出力バランスを調節する

1 ソース(CDまたはラジオ)を再生/受信する。

2 SELボタンを繰り返し押して、「BAL」、「FAD」、「LPF」または「SUB」にする。

バランス(BAL)の設定表示



BAL : 左右のスピーカーバランス

FAD : 前後のスピーカーバランス

LPF : サブウーファーのカットオフ周波数

SUB : サブウーファーの出力レベル

3 ボリュームボタンの + または - を繰り返し押して、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

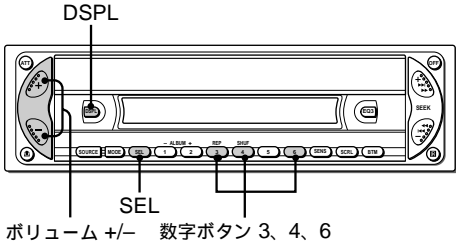
音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

音や表示などの 設定を換える



ご注意

表示項目は選択されている
ソースにより異なります。

* ソースの再生/受信の停止中
のみ、表示します。

設定の種類	設定内容
「REAR」/「SUB」*	音声出力を「REAR」または「SUB」に切り換えます。 「REAR」 → パワーアンプに出力する。 「SUB」 → サブウーファーに出力する。

「REAR」/「SUB」*を切り換える

- 1 SELボタンを押す。
- 2 ボリューム + / - ボタンを繰り返し押して、
「REAR」または「SUB」を選ぶ。
設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

次のページへつづく

その
他の
操作

音や表示などの設定を換える(つづき)

*¹ CD/MP3再生中の場合のみ表示します。

*² ソースの再生/受信の停止中のみ、表示します。

*³ 内蔵パワーアンプが使用されている場合のみ、ピープ音がなります。

設定の種類	設定内容
「A.SCRL」* ¹	CD TEXTディスク、またはMP3ファイル再生時、表示を自動的にスクロールさせる(24ページ)。
「DEMO」* ²	再生/受信の停止中にデモを表示する。
「BEEP」* ³	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。
「DIM」	表示窓の減光を設定する。 「ON」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「OFF」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。

設定を換える

SELと希望するボタンを同時に押す。

「A.SCRL」*¹ : SELボタン + 数字ボタン3

「DEMO」*² : SELボタン + 数字ボタン4

「BEEP」*³ : SELボタン + 数字ボタン6

「DIM」: SELボタン + DSPLボタン

設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

モード設定を解除するには

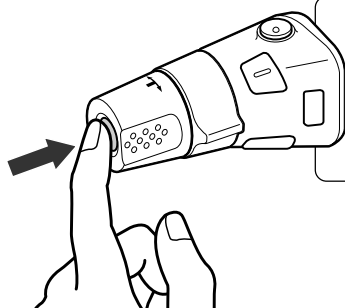
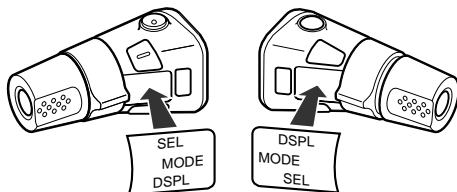
SELボタンと希望するボタンを同時に押します。

ロータリーコマンダー(別売り)の 操作

本機はロータリーコマンダー(RM-X4S)で操作できます。

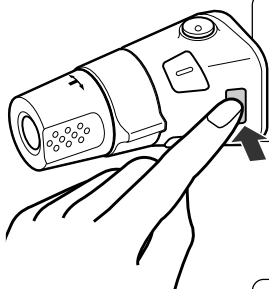
ロータリーコマンダーのシール について

ロータリーコマンダーを取り付ける向きに
合わせて、シールを貼ってください。



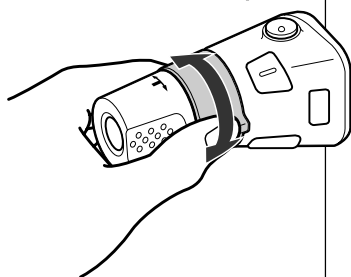
ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
ラジオ(FM/AM) CD ラジオ
と切り換わります。



モード MODEボタンを押すと

ラジオの時: FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。



シーク/エーエムエス

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ 自動的に放送局を受信する

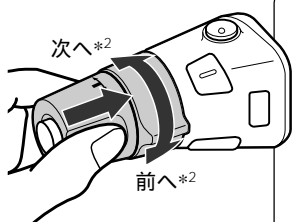
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD 曲の頭出しをする

つまみを離してから2秒以内に再び回し続けると、
連続して曲がスキップします。

回し続けると早送り/早戻しになり、離すと再生
に戻ります。

ロータリーコマンダー(別売り)の操作(つづき)



ボリューム

VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM 登録した放送局を順に受信する

CD アルバムを切り換える*1

*1 MP3再生時のみ切り換えます。

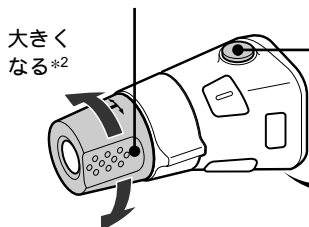
アルバムの切り換えかた

MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいアルバムを選びます。

回し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

音量を調節する(ボリュームつまみを回す)



大きく
なる*2

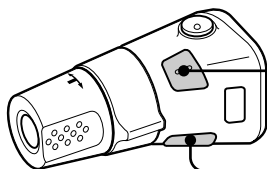
小さくなる*2

音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)
アッテネート

解除するにはもう一度押すか、VOL
つまみで音量を上げます。

再生/受信の停止(OFFボタンを押す)
オフ

*2 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

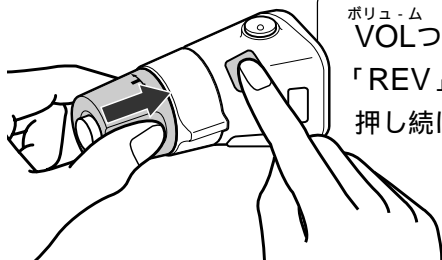


音量調節・音質選択する(SELボタンを押す)
 本体のSELボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える(DSPLボタンを押す)
 本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



ボリューム

VOLつまみを押しながら、「NORM」または
 「REV」が表示されるまでSELボタンを
 押し続ける

「NORM」.... 初期設定の回転方向

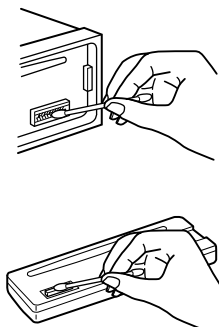
「REV」..... 運転席の右側に取り付けたときの
 回転方向

その他の
 操作

使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて
フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

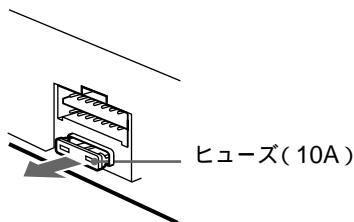
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過後でも正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

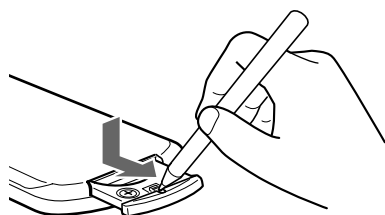
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことと結露が取り除かれ正常に戻ります。

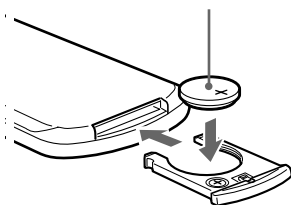
電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

次のページへつづく

電池の交換時期

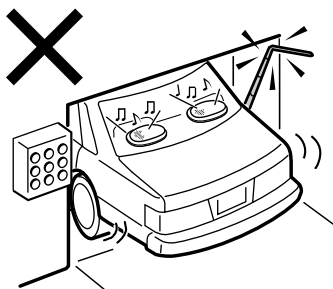
電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

使用上のご注意(つづき)

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定(34ページ)を「ON」にしてください。• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• OFFボタンを押し続けて表示を消した状態になっている。 → もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。• フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする(38ページ)。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていない。• イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。
ノイズが出る。	アンテナコード、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを押し続けてください。
共 オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
通 ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
ロータリーコマンダー(別売り)で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル(レーベル)面を上にして入れてください。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が45°を越えている。 • 本機が正しく固定されていない。 • 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。 • 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイルを再生している。
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 • MP3ファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。 • MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。
アルバム名、曲名、ID3タグが「*」になる。 CD TEXTの文字が「*」になる。	<p>本機で表示できる文字は、アルファベット大文字、数字、特殊記号(+ , - , * , / , \ , , , , , _)です。それ以外の文字は「*」と表示します。</p> <p>アルファベットの小文字は大文字に変換して表示します。</p> <p>漢字、カナは表示できません。</p>

ラ ジ オ	症状	原因・処置
	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールコードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → ローカル受信を解除してください(28ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEKボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(28ページ)。
サ ウ ン ド 設 定	音が出ない。 音が小さい。	<p>左右のスピーカー出力のバランス(BAL)、フロントとリアの出力レベル(FAD)の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、FADを調節してください(32ページ)。</p>

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

CDのエラー表示

本機が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
ERROR	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
FAILURE	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
NO MUSIC	本機またはMP3対応のCD機器に、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
OFFSET	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 ディスプレイのエラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口にご相談する。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	120dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	67dB(ステレオ) 69dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	52W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	リア/サブウーファー (切り換え式)音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用)

トーンコントロール

	低音: ±10dB(60Hz) (XPL0D)
	中音: ±10dB(1kHz) (XPL0D)
	高音: ±10dB(10kHz) (XPL0D)
本体寸法	約178×50×179mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約182×50×161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) カードリモコン RM-X115(1) (リチウム電池(1)を含む) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) ケース(1) 別売品 パワーアンプ XM-460GTXなど アクティブサブウーファー XS-AW5X ロータリーコマンダー RM-X4S RCAピンコード RC-64(2m) RC-65(5m) 電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	30 ~ 31
エラー表示	44
オートスクロール	24、34
音量	17 ~ 18

カ行

カットオフ周波数	32
カードリモコン	18

サ行

サブウーファー出力	32、33
スクロール	23 ~ 24、34
シャッフル	26
ステレオ放送	28
スピーカーバランス	32

タ行

デモ	34
登録	
自動登録	27
手動登録	29
時計	20

ハ行

バランス	32
ヒューズ	38
表示窓	
CD	23
ラジオ	28
フロントパネル	13
ベストチューニングメモリ - (BTM)	27
ボタンの音	34

マ行

モノラル	28
------	----

ラ、ワ行

ラジオ	15、27 ~ 29
自動選局	28
登録	27、29
リセット	12
リピート	25
リモコン	
カードリモコン	18 ~ 19
ロータリーコマンダー	35 ~ 37

アルファベット順

A.SCRL	24、34
ATT	32
BAL	32
BEEP	34
BTM	27
CD/MP3	21 ~ 26
CD TEXT	21
DEMO	34
DIM	34
EQ3	30 ~ 31
FAD	32
ID3タグ	21、23
LOCAL	28
LPF	32
MONO	28
MP3	9 ~ 11、21 ~ 26
REAR	33
REP	25
SHUF	26
SUB	32、33

商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- ・主なはんだ付けおよびプリント配線板に無鉛はんだを使用しています。
- ・主なキャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- ・包装用緩衝材に紙材料を使用しています。